

トップレッセージ



当社にとってのサステナビリティとは、本業を通して様々な社会課題の解決に寄与するとともに、持続的な成長と進化を遂げながら、社会の発展に貢献していくことです。

当社は2021年度より、国内の自社工場・事業所から再生可能エネルギーへの切り替えを開始し、2023年5月にすべての電力使用に係る温室効果ガスの排出量（Scope2）は、実質ゼロとなりました。海外に所在する自社所有の拠点においても、地域別特性を鑑みて、購入する電力の再生可能エネルギーへの切り替えを順次、行います。

当社は社是に「人間性尊重」を掲げて、従業員が生き生きと働ける環境と、一人ひとりが成長し活躍できる企業風土を大切にしています。

具体的には、人財づくりの強化を目指して「従業員一人ひとりの成長の支援」「多様な人財の活躍の後押し」「経営幹部候補人財の育成」「専門人財等の採用」を重点施策として取り組んでいます。

また、従業員一人ひとりとその家族が心身共に健康であることが最も大切な財産と考え、「健康経営」を推進しています。今年度は、メンタルヘルス産業医を導入するなど、従業員の生活習慣とメンタルヘルスを重点課題として様々な施策を実施いたしました。

今後も、企業の成長力の源泉といえる人財、人的資本を重視した経営に注力していきます。

当社のコーポレートガバナンス体制は、取締役会を中心として、これを監督する独任制の監査役会を設置する監査役会設置会社であること、業務執行の決定権限を委譲された経営会議の設置を特長としています。これらの体制により、組織の透明性を担保するとともに、経営環境の変化に即応できる柔軟性を確保し、持続的な成長と中長期的な企業価値の向上を目指していきます。

引き続き、変革期が続く自動車業界にあって価値あるサプライヤーとして勝ち残るために、事業モデルの転換と経営改革に取り組めます。株主・投資家をはじめとするステークホルダーの皆様におかれましては、さらなるご支援を賜りますよう、お願い申し上げます。

代表取締役社長
社長執行役員

高尾直宏